

平成30年度 公共建築物等への  
県産材利用事例集



三重県

# 「木づかい」で三重の森林を元気に

森林は私たちの暮らしをさまざまな面から支えています。

## 災害の防止

森林には土を支えたり水を貯えたりするはたらきがあり、土砂崩れや洪水を防いでいます。

## 自然の恵み

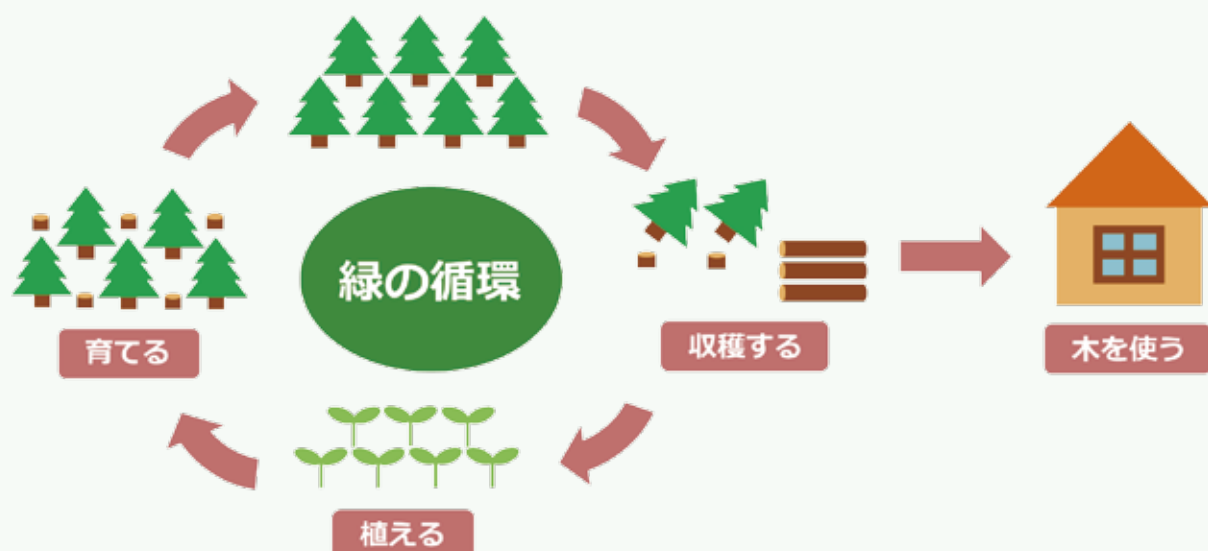
森林には、汚れた空気をきれいにするはたらきがあります。また、森林は雨を貯えて水不足を防いだり、雨をろ過してきれいな水を供給します。

## 生物多様性の保全

森林はさまざまな生物の生息する場となります。また、森林の豊富な養分を含んだ水は、川や海に流れ込み、そこに生息する生物の暮らしも守ります。

三重県の森林は約6割が人工林であり、人が木を植えて収穫するために育てられています。そのため、人が手を加え続けなければ、森林は荒れてしまいます。

三重県の森林を守るためには、三重県の森林から生産された木材を積極的に使い、「緑の循環」を維持していく必要があります。



# 木造は安全性が低い？疑問にお答えします！

**Q. 木造だと火災が発生したときに危険なのでは？**

**A. 木造でも火災安全性を確保できます！**

木造の耐火構造技術により、鉄骨造や鉄筋コンクリート造と同等の火災安全性が確保できるようになっています。

また、ある程度の厚みのある木材は芯まで燃え尽きるのに時間がかかります。建築物がすぐには倒壊しないため、避難する時間をかせぐことができます。



**Q. 木造だと地震に弱いのでは？**

**A. 木造でも鉄骨造や鉄筋コンクリート造と同等の耐震性能があります！**

建築基準法で定められている耐震性能レベルは構造種別に関わらず同じであり、木造だからといって耐震性能が不十分ということはありません。

鉄筋コンクリート造などと比べて、木造の建築物は軽いため、受ける地震力が小さくなります。そのため、支える重量が軽くて済み、木材の持つ強度でも十分な耐震性能を確保できます。

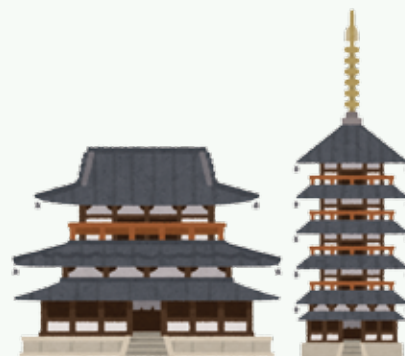


**Q. 木造だと耐久性が低いのでは？**

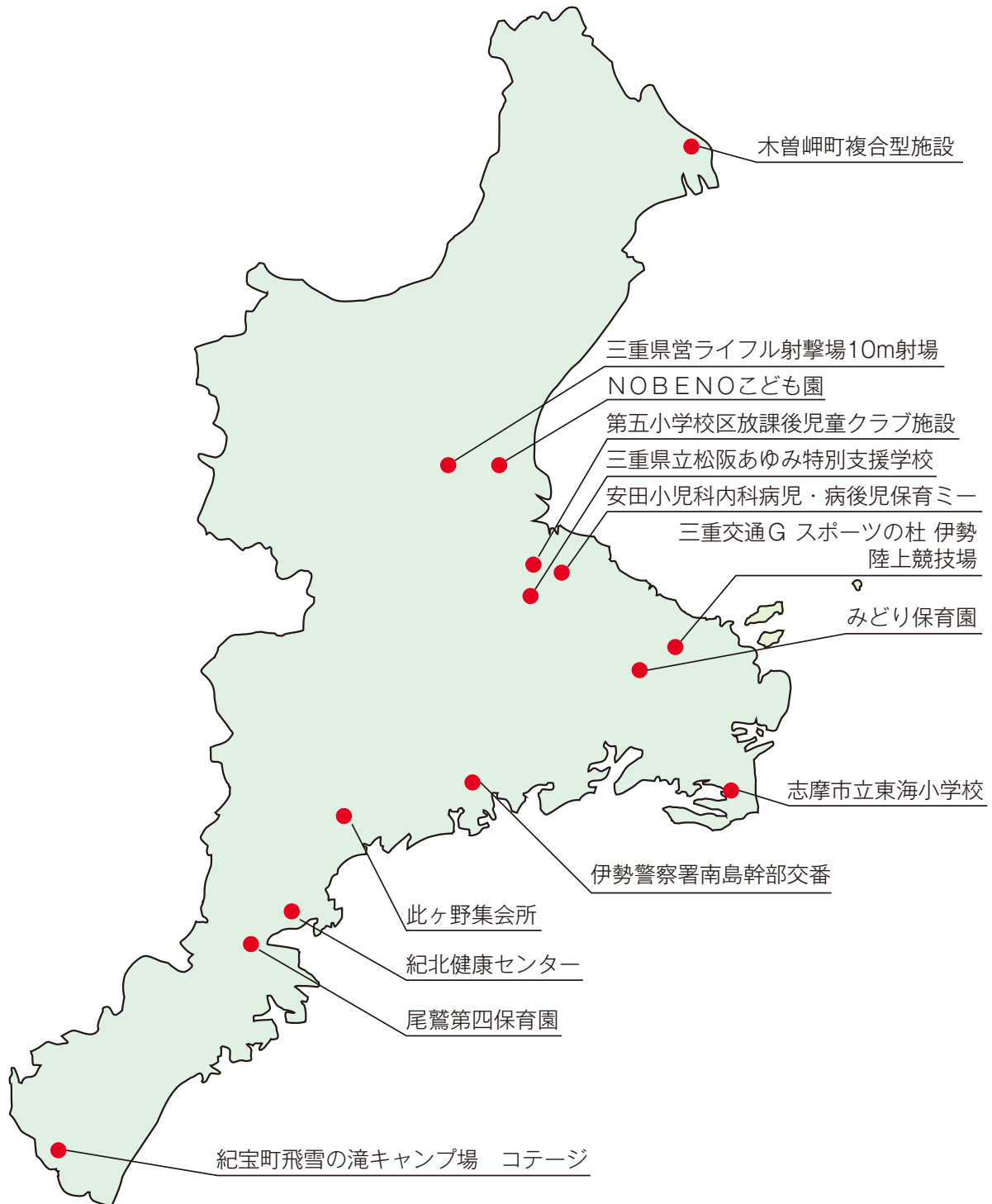
**A. 木造建築物は適切に維持管理を行えば長持ちします！**

腐朽やシロアリなどに対して適切な対策をとれば、木造建築物は長持ちします。世界最古の木造建築といわれる法隆寺は、千年以上も現存しています。

また、木造は既存の建築物の劣化部分の補修や交換が他の構造に比べて容易であるという利点もあります。



## 施設所在地



# 目次

## 医療・福祉施設等

- NOBENOこども園（新築）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 尾鷲第四保育園（新築）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- みどり保育園（改修）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 第五小学校区放課後児童クラブ施設（新築）・・・・・・・・・・ 9
- 安田小児科内科病児・病後児保育ミー（新築）・・・・・・・・ 11

## 学校関連施設等

- 志摩市立東海小学校（新築）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- 三重県立松阪あゆみ特別支援学校（新築）・・・・・・・・・・ 15

## 交流施設等

- 木曾岬町複合型施設（新築、一部改修）・・・・・・・・・・ 17
- 三重交通G スポーツの杜 伊勢 陸上競技場（新築）・・・・ 19
- 三重県営ライフル射撃場10m射場（新築）・・・・・・・・・・ 21
- 紀北健康センター（新築）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
- 此ヶ野集会所（新築）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
- 紀宝町飛雪の滝キャンプ場 コテージ（新築）・・・・・・・・ 27

## 交番

- 伊勢警察署南島幹部交番（新築）・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

### 【表紙写真】

NOBENOこども園

### 【裏表紙写真】

左上：三重交通G スポーツの杜 伊勢 陸上競技場

右上：NOBENOこども園

左下：三重県立松阪あゆみ特別支援学校

右下：第五小学校区放課後児童クラブ施設

# NOBENO こども園



所在地 津市久居井戸山町860-2  
発注者 学校法人 野辺野学園  
区分 新築  
工期 着手 平成29年3月23日  
完成 平成30年3月9日  
階数 地上1階  
構造 木造

延床面積 1,453.9 m<sup>2</sup>  
工事費 非公表  
木材利用量 156.0 m<sup>3</sup>  
うち県産材利用量 105.0 m<sup>3</sup>  
設計 株式会社館設計事務所  
施工 林建設株式会社

## (1) 木造・木質化を選択した背景

①平屋建てとすること、②シックハウス問題を考慮した優しい環境を構築すること、③将来の増改築に対応しやすい建物とすること、の3点を考慮して、木造を選択しました。





## (2) 木材の使用箇所や工夫点

施設の設計に当たり、快適な教育・保育空間の創造を目指しました。

使用木材は県産ヒノキ無垢材約70%と一部スギ材を使い、用途により環境の違いと変化を楽しめるようにしました。遊技室・多目的室・ウッドテラスの独立柱には自然丸太の柱を使用し、施設全体の開放的な空間デザインと相まって独特の雰囲気醸し出しています。子どもたちが無垢材に直接触れ、木のぬくもりと優しさを肌で感じられる環境づくりを工夫しました。

各教室・保育室とウッドテラスが南と東に面し（前面が全て園庭）、採光はもとより万一の災害や緊急時に備えた避難に対しても安心・安全を配慮しました。





### (3) 木造・木質化した感想

認定こども園は一日最長11時間の園生活となるため、穏やかで落ち着いた空間と環境が求められます。これを実現するため、ベテランの保育教諭を交え、現場感覚の工夫に努めることとしました。

登園する子どもたちが扉をくぐると、明るく楽しさいっぱいの園舎・園庭が眼前に広がり、子どもたちの目が輝きます。保護者もその姿を見て安心して職場に向かうことができると喜ばれています。





# 尾鷲第四保育園



所在地	尾鷲市古戸町5-15	延床面積	799.3 ㎡
発注者	尾鷲市	工事費	265,864 千円
区分	新築	木材利用量	124.0 ㎡
工期	着手 平成29年6月23日 完成 平成30年3月16日	うち県産材利用量	124.0 ㎡
階数	地上2階	設計	株式会社山本設計
構造	木造	施工	株式会社東組

## (1) 木造・木質化を選択した背景

林業の産地である当地域においても、住宅の多様化により木に触れ合う機会が少なくなってきました。そこで、幼少期から子どもたちが、地域産材である「尾鷲ヒノキ」と触れ合う機会を設け、木材のやわらかで温かみのある感触や香りに触れながら元気にすくすくと育ってくれるように、快適で落ち着いた保育環境を提供できる木造を選択しました。



## (2) 木材の使用箇所や工夫点

地元の製材所や大工などで建築ができるよう、構造は在来軸組工法としました。また、木材はスパンの長い梁のみ集成材とし、他の部材は尾鷲産のヒノキ、スギの無垢材を使用しました。

子どもが楽しく登園できるように外観は積み木で建てられたような建物をイメージし、内部の廊下や部屋の床はヒノキ板張りとするこゝで、落ち着いた雰囲気としました。





### (3) 木造・木質化した感想

園児、保護者、先生からは、「木に直接触れることができるため、安心できる環境である」、「落ち着いた空間である」など高い評価をいただいています。

また、この園は、防災機能（避難所）も兼ねているので、この木質化された空間が避難者の不安やストレスを緩和するものと考えています。



# みどり保育園



所在地 伊勢市矢持町下村426  
発注者 社会福祉法人 一宇郷福社会  
区分 改修  
工期 着手 平成29年12月1日  
完成 平成30年2月28日  
階数 地上2階  
構造 木造

延床面積 842.2 m<sup>2</sup>  
工事費 18,036 千円  
木材利用量 46.1 m<sup>3</sup>  
うち県産材利用量 45.0 m<sup>3</sup>  
設計 有限会社南勢建築設計  
施工 株式会社近藤建設

## (1) 木造・木質化を選択した背景

昭和31年に建てられた木造小学校舎の廃校を保育園舎とするため、その風合いは損ねずに、老朽化した水回りなどを改修しました。

園児や保護者、また地域の方にとって、居心地の良い場所にしたいと考えました。



## (2) 木材の使用箇所や工夫点

壁や天井の下地を金属製でなく木製にしました。また、幼児トイレ解体時に現れた梁もそのまま残し、見せ梁としました。廊下扉の表面を磨き、白木によみがえった扉を乳児トイレ入口に設置しました。大人トイレの入り口は、既存扉に透かしを入れて再利用しました。



↑ 改修前  
← 改修後



## (3) 木造・木質化した感想

地域でも大切にしている建物で、いつまでも変わらない姿で残したいと思っています。古い傷、敷居がある園舎。木は生きているので、天気によって戸の閉め具合が違います。そんな本物の木のぬくもりの中で、園児たちはのびのびと過ごしています。



# 第五小学校区放課後児童クラブ施設



所在地	松阪市久保町276	延床面積	124.2 m <sup>2</sup>
発注者	松阪市	工事費	39,758 千円
区分	新築	木材利用量	30.0 m <sup>3</sup>
工期	着手 平成29年10月31日 完成 平成30年3月2日	うち県産材利用量	23.6 m <sup>3</sup>
階数	地上1階	設計	駒田建築設計事務所
構造	木造	施工	青木産業株式会社

## (1) 木造・木質化を選択した背景

放課後の時間を過ごす児童が第二の家と感じる施設となり、児童にとって快適で安心な保育環境を整備するため、木造による放課後児童クラブ施設の建設を行いました。



## (2) 木材の使用箇所や工夫点

構造は在来軸組工法としています。主となる学童児童室は、家具や開口部が壁の多くを占め、内壁の見え掛り部分が少なくなることから、天井を設けず小屋裏の木材をあらわしにすることにより木材の温かみを感じられるようにしました。



## (3) 木造・木質化した感想

木造での施設を建設したことにより、自宅のような温かみを感じる環境を整備することができました。随所に木が使われた施設について、施設の利用者からは「充実した保育ができています」との感想をいただいております。

# 安田小児科内科病児・病後児保育ミー



所在地	松阪市上川町2194-3	延床面積	89.1 m <sup>2</sup>
発注者	医療法人 妙光会	工事費	28,188 千円
区分	新築	木材利用量	11.7 m <sup>3</sup>
工期	着手 平成29年11月9日 完成 平成30年3月20日	うち県産材利用量	3.2 m <sup>3</sup>
階数	地上1階	設計	株式会社時田建築企画
構造	木造	施工	日本土建株式会社

## (1) 木造・木質化を選択した背景

当施設は、乳幼児及び小学校6年生以下の児童の利用となります。そのため、子どもたちにやさしく安心感のある木造としました。

## (2) 木材の使用箇所や工夫点

木材の使用箇所としては、土台・柱などに県産材を使用しています。

工法は在来軸組工法であり、十分な耐力壁を設置しています。

## (3) 木造・木質化した感想

「木造にしたおかげで家庭的な雰囲気を感じられる」とのご意見をいただきました。





# 志摩市立東海小学校



撮影 ロココプロデュース

所在地	志摩市阿児町甲賀1518	延床面積	6,941.1 m <sup>2</sup>
発注者	志摩市	工事費	2,643,757 千円
区分	新築	木材利用量	162.0 m <sup>3</sup>
工期	着手 平成28年8月5日 完成 平成30年2月28日	うち県産材利用量	52.9 m <sup>3</sup>
階数	地上2階	設計	株式会社久米設計名古屋支社
構造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）	施工	建築工事：山下・出馬・作田特定建設共同企業体 電気設備工事：シンフォ・東山特定建設工事共同企業体 機械設備工事：日管・宮柴特定建設共同企業体 太陽光発電設備工事：有限会社出馬電機

## (1) 木造・木質化を選択した背景

東日本大震災を受けて、市の将来を担う子どもたちの安全で安心な学校生活を第一に考え、高台移転を決定した東海小学校は、鉄筋コンクリートによる堅牢な校舎の実現を図ると共に、内部空間については木材による温かみのある学習空間を目指しました。



撮影 ロココプロデュース



撮影 ロココプロデュース



撮影 ロココプロデュース

## (2) 木材の使用箇所や工夫点

児童を迎え入れる昇降口の天井や、一日の大部分を過ごす普通教室のほか、図書室の床、壁、天井など児童が目にし、触れる場所に木材を利用しました。落ち着いた環境を実現するため、天井仕上げの木材間で吸音性の高い設計としました。



撮影 ロココプロデュース



撮影 ロココプロデュース



撮影 ロココプロデュース

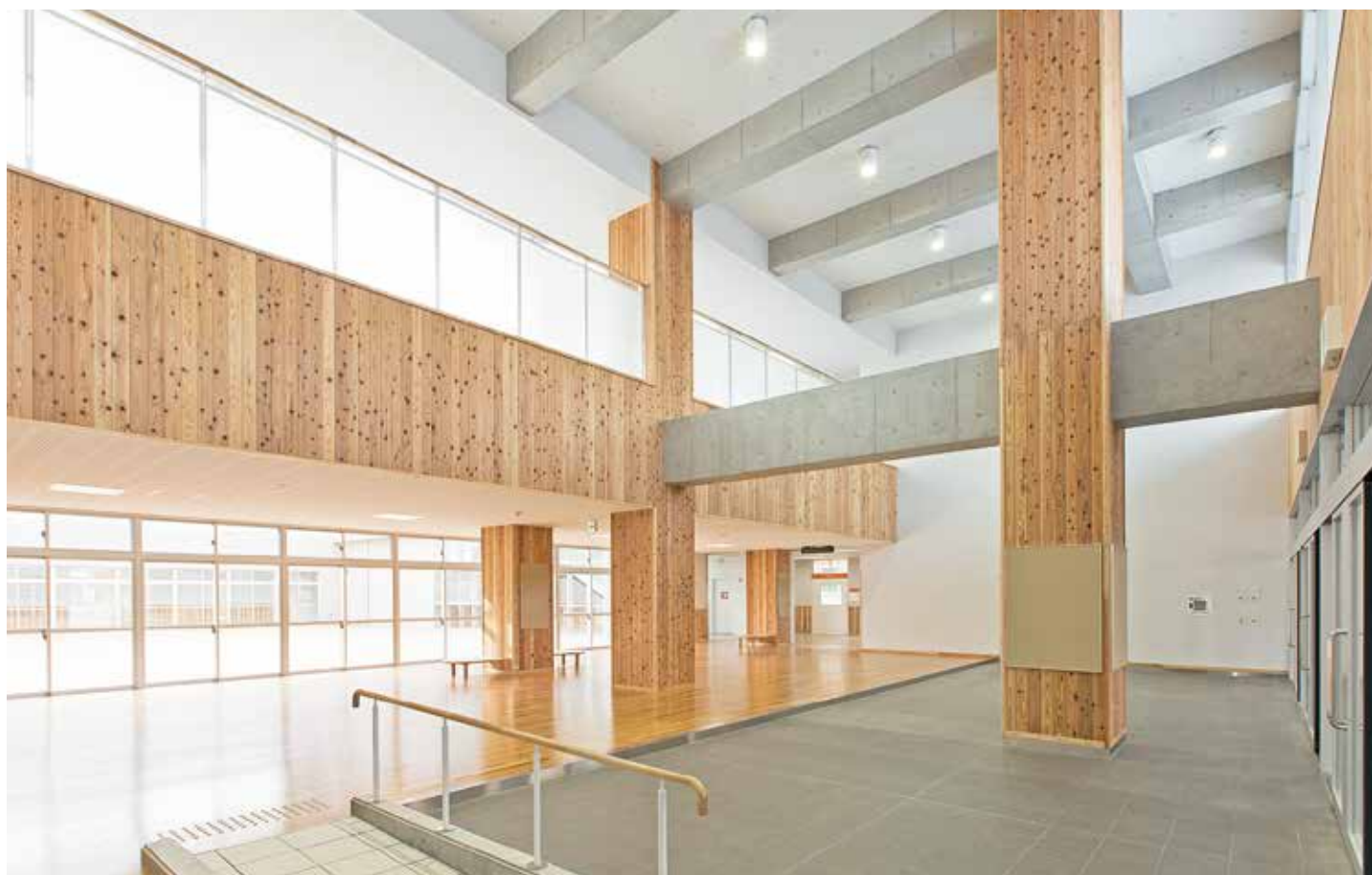
### (3) 木造・木質化した感想

学校の教員からは「教室に入ったときに温かみがある」、「子どもたちが落ち着いて授業に取り組んでいる」、「教室がざわざわしても、耳障りな感じが少ない」など、計画の意図が実現できたことを感じられる評価を得ています。



撮影 ロココプロデュース

# 三重県立松阪あゆみ特別支援学校



**所在地** 松阪市久保町字分レ谷1846-195 ほか1筆  
**発注者** 三重県  
**区分** 新築  
**工期** 着手 平成28年6月30日  
完成 平成29年11月21日  
**階数** 地上3階  
**構造** 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）

**延床面積** 6,028.2 m<sup>2</sup>  
**工事費** 1,250,395 千円  
**木材利用量** 95.0 m<sup>3</sup>  
**うち県産材利用量** 45.0 m<sup>3</sup>  
**設計** 株式会社佐藤総合計画  
**施工** 日本土建・堀崎組・西組特定  
建設工事共同企業体

## (1) 木造・木質化を選択した背景

可能な限り内装を木質化することにより、「家のような雰囲気」を作り、児童・生徒が落ち着いて学習・活動に取り組むことができる校舎を目指しました。





## (2) 木材の使用箇所や工夫点

三重県産あかね材を用いることとし、教室や廊下等の床フローリングにスギやヒノキ、腰壁や柱にスギを合計45㎡使用しました。昇降口の吹き抜けの柱に県産材を貼り付けることにより、天井まで延びる木をイメージしました。また、児童・生徒が昇降口での履き替えを意識できるように、上履き側の床をフローリングにしました。

## (3) 木造・木質化した感想

学校で働く教員からは「建物自体は鉄筋コンクリートだが、教室の中に入ると木造建物のように感じる」といった声や、保護者からは「木の香りがして、柔らかいイメージがある」といった感想がありました。



# 木曾岬町複合型施設



所在地	桑名郡木曾岬町大字西対海地251	延床面積	新築：4,697.3㎡ 既設改修：1,950.0㎡
発注者	木曾岬町	工事費	2,449,094千円
区分	新築（一部改修）	木材利用量	36.0㎡
工期	着手 平成27年9月18日 完成 平成29年12月15日	うち県産材利用量	36.0㎡
階数	地上4階	設計	株式会社市川三千男建築設計事務所
構造	鉄筋コンクリート造	施工	木内建設株式会社名古屋支店

## （1）木造・木質化を選択した背景

多目的に様々な人が利用する複合型施設であるため、誰もが心地よい時間を過ごせるよう、内装の木質化を積極的に行い、落ち着いた雰囲気作りを目指しました。





## (2) 木材の使用箇所や工夫点

施設の床、階段、壁の一部に県産材を使用し、来庁者が自然素材に触れる場所づくりを行いました。特に併設された図書館や町民ホールでは、内装の木質化を通して優しい雰囲気づくりを演出しました。

## (3) 木造・木質化した感想

庁舎に入ってすぐに木材が使用された壁に囲まれ、施設に木の温かさを感じます。町内には森林が無いので、木材に触れる機会が増えて良いと思います。



# 三重交通G スポーツの杜 伊勢 陸上競技場



所在地	伊勢市宇治館町510ほか	延床面積	メインスタンド棟：11,378.1 m <sup>2</sup>
発注者	三重県		サイドスタンド南：1,651.8 m <sup>2</sup>
区分	新築		サイドスタンド北：1,721.8 m <sup>2</sup>
工期	着手 平成28年3月22日		バックスタンド：5,699.3 m <sup>2</sup>
	完成 平成29年10月2日	工事費	6,428,732 千円
階数	メインスタンド棟：地上4階	木材利用量	58.7 m <sup>3</sup>
	サイドスタンド南：地上1階地下1階	うち県産材利用量	57.3 m <sup>3</sup>
	サイドスタンド北：地上1階地下1階	設計	株式会社安井建築設計事務所
	バックスタンド：地上2階	施工	建築工事：清水・堀崎・伊藤特定建設工事共同企業体
構造	メインスタンド棟：鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造)		電気設備工事：中央電設・北勢・大東特定建設工事共同企業体
	サイドスタンド南：鉄筋コンクリート造		機械設備工事：日本ファシリオ・野村水道・神都特定建設工事共同企業体
	サイドスタンド北：鉄筋コンクリート造		
	バックスタンド：鉄筋コンクリート造		

## (1) 木造・木質化を選択した背景

素材（コンクリートや木材等）そのものの質感や魅力を活かした外観とすることで、きめの細かい親しみのある表情としました。また、アプローチからよく見える場所に木を活用することで、柔らかく周辺環境に馴染むようなデザインとしました。





## (2) 木材の使用箇所や工夫点

地産地消の推進と地域産業の循環を生み、「県民と共に創り上げるスタジアム」の意識を高めるため、観客席最上段の風除けルーバー、エントランス庇の天井、ロビーの内装材に県産材を使用しました。



## (3) 木造・木質化した感想

多くの人が利用するエントランスには、天井、管理事務所窓口周辺の壁面、飾り棚などに木材を使用しており、木のぬくもりやあたたかみを感じる空間となっているため、利用者に好評です。



# 三重県営ライフル射撃場10m射場



所在地	津市中村町国主谷地内	延床面積	722.0 ㎡
発注者	三重県	工事費	92,286 千円
区分	新築	木材利用量	11.3 ㎡
工期	着手 平成29年4月27日 完成 平成29年10月23日	うち県産材利用量	0.6 ㎡
階数	地上1階	設計	有限会社南勢建築設計
構造	鉄骨造	施工	日本土建株式会社

## (1) 木造・木質化を選択した背景

本施設は2021年の三重とわか国体のライフル競技会場として整備したもので、全国より多数の参加者の来訪が見込まれています。県産材の魅力を県外の方にも幅広く知っていただくために、内外装材の一部に県産材を使用しました。



## (2) 木材の使用箇所や工夫点

施設利用者の目に最も触れやすいエントランスまわり外壁、内部建具廻りに県産スギ材を使用しています。外装材の木質化では耐久性が課題となりますが、2m程度の深い庇を設けることで木材が直接風雨にさらされにくいよう配慮をしています。

## (3) 木造化におけるコスト削減の取組

エントランスまわり外壁羽目板については、節有りの材料を使用することで、間伐材の有効活用ならびに工事コスト削減を図っています。



## (4) 木造・木質化した感想

本施設は鉄骨造ですが、ライフル射撃場として跳弾防止のために内部の仕上げを木材としており、**機能性**と素朴な木のぬくもりが感じられる空間となっています。

# 紀北健康センター



所在地 北牟婁郡紀北町相賀417-1  
発注者 紀北町  
区分 新築  
工期 着手 平成28年7月7日  
完成 平成29年9月30日  
階数 地上2階  
構造 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）

延床面積 2,898.7 ㎡  
工事費 1,011,220 千円  
木材利用量 25.6 ㎡  
うち県産材利用量 25.6 ㎡  
設計 株式会社東畑建築事務所名古屋事務所  
施工 北村・塩谷特定建設工事共同企業体、  
株式会社北村組、株式会社塩谷組

## (1) 木造・木質化を選択した背景

利用者へのヒノキの香りと温かみの提供と、地元産材のPRを目指し、木造・木質化を選択いたしました。これにより利用者に木質・木造の良さを知ってもらうとともに、地元の林業の活性化も目的としています。





## (2) 木材の使用箇所や工夫点

建物だけでなくロッカーやカウンター等の備品も木質化し、利用者に直接触れていただけるよう工夫しました。

また木造化により作り出される空間によって、施設を積極的に利用していただけるよう工夫をしています。



## (3) 木造・木質化した感想

施設利用者からは、「木のぬくもりがあるので、生活が豊かになる気がする」、「木材の良さを知ることができたことにより、森林の必要性を感じた」との感想をいただきました。



# 此ヶ野集会所



所在地 北牟婁郡紀北町十須1098-12  
発注者 紀北町  
区分 新築  
工期 着手 平成29年4月5日  
完成 平成30年3月30日  
階数 地上1階  
構造 木造

延床面積 118.0 m<sup>2</sup>  
工事費 31,842 千円  
木材利用量 26.7 m<sup>3</sup>  
うち県産材利用量 26.7 m<sup>3</sup>  
設計 紀北町  
施工 株式会社平野組

## (1) 木造・木質化を選択した背景

周辺の環境とも調和した木造の集会所を建設し、木づかいによる親しみ、温かみのある公共施設を提供することで、住民に愛され地域の交流の場となる集会所を目指しました。





## (2) 木材の使用箇所や工夫点

外装だけでなく内装なども木質化し、木と畳の香りによって癒しの空間を作り出すように工夫しました。

## (3) 木造化におけるコスト削減の取組

500㎡以下の公共建築物については、構造を木造とすることで建設の工程を少なくでき、また基礎についても他構造に比べて簡易で、安価に施工できます。

当町では、地区集会所については全て木造で計画して建設しており、鉄骨造で行うよりは1㎡あたり、5万～10万円ほど安く施工できています。

## (4) 木造・木質化した感想

「ヒノキの香りがして心地良い」、「木造と畳が作り出す空間は、日本人として親しみが持てて落ち着く」との感想をいただきました。



# 紀宝町飛雪の滝キャンプ場 コテージ



所在地 南牟婁郡紀宝町浅里1409-1  
発注者 紀宝町  
区分 新築  
工期 着手 平成29年9月21日  
完成 平成30年3月27日  
階数 地上1階  
構造 木造

延床面積 250.3 m<sup>2</sup> (31.3m<sup>2</sup>×8棟)  
工事費 110,481 千円  
木材利用量 82.9 m<sup>3</sup>  
うち県産材利用量 82.2 m<sup>3</sup>  
設計 株式会社建築工房くまの  
施工 住創工務店株式会社

## (1) 木造・木質化を選択した背景

紀宝町飛雪の滝キャンプ場内に、地方創生拠点整備交付金事業を活用し、コテージを新築しました。

当キャンプ場は、自然豊かな吉野熊野国立公園内に立地し、コテージということもあり、当初より木造を考えていました。お客様には、木と触れ合うことで、木の大切さや良さを実感していただければと思います。







## (2) 木材の使用箇所や工夫点

丸太柱や床材、デッキなど手の届くところに木材を使用し、木と触れ合う機会が増えるようにしました。木材は、町産材を含む県産材（スギ、ヒノキ）を82.2㎡使用しています。また、周囲の自然環境との調和を図り、外壁の一部を茶系の塗装を施したスギ板張りにしています。



## (3) 木造・木質化した感想

和室には直径21cmの丸太柱を配置し、ロフトや階段などに木材を多く使用していることから、「丸太柱を手で触れてみて質感が素晴らしい」、「木の香りに安らぎを感じる」、「木のぬくもりを感じる」などコテージに宿泊されたお客様から喜びの声をいただいています。

# 伊勢警察署南島幹部交番



所在地	度会郡南伊勢町村山伯父ヶ谷17-15	延床面積	177.0 m <sup>2</sup>
発注者	三重県警察本部	工事費	68,784 千円
区分	新築	木材利用量	1.4 m <sup>3</sup>
工期	着手 平成28年10月24日 完成 平成29年5月24日	うち県産材利用量	1.4 m <sup>3</sup>
階数	地上2階	設計	株式会社山本設計
構造	鉄骨造	施工	株式会社山口工務店

## (1) 木造・木質化を選択した背景

地域の安心、安全を守る拠点として、内装を木質化することにより、温かみのある、住民から親しまれる交番を目指しました。



## (2) 木材の使用箇所や工夫点

利用者が訪れる玄関ホールの腰壁を羽目板張りとしたほか、休憩室は、勤務員がゆっくりくつろげるように和室とし、造作材にヒノキを使用しました。



## (3) 木造・木質化した感想

施設利用者からは、「内装に木材を使用することにより、温かみを感じ、リラックスできる空間となっている」との声をいただいています。





**三重県農林水産部 森林・林業経営課**

〒514-8570 三重県津市広明町 13 番地

TEL:059-224-2565

FAX:059-224-2070